



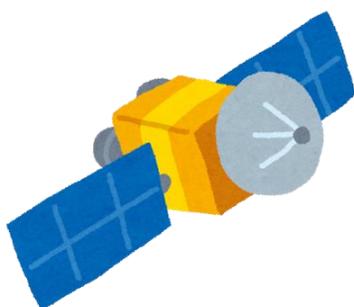
## 60点を100%の確率で～朝礼校長講話より～

大きな夢をかなえる基本のABCの話をおぼえていますか。今日も、その話です。

皆さん「はやぶさ」って知っていますか。いろいろ思い浮かべるかも知れませんが、今日は、小惑星探査機「はやぶさ」のお話です。

「はやぶさ」は、2003年5月に、火星と木星の間にある小惑星イトカワに向かって打ち上げられました。2005年9月に小惑星イトカワに到達し、その表面のサンプル採集に成功しました。天体の固体表面に着陸（タッチダウン）してのサンプル採集は世界初の成功でした。しかし、その成功の裏には、数々のトラブルがありました。姿勢制御装置の故障や化学エンジンの燃料漏れによる全損、電池切れ、通信途絶による行方不明、イオンエンジンの停止など、次々とトラブル起こりました。しかし、「はやぶさ」は、それらのトラブルを克服し、地球に帰ってきました。「なぜ、帰ってこられたのか」を質問された「はやぶさ」計画のプロジェクトマネージャー川口淳一郎さんは、

「60点を100%の確率で取りに行った」ことが計画成功の秘訣であったと答えました。これは、非常に奥の深い言葉です。ただし、定期テストなどで「60点を100%の確率で取りに行ったから、60点でした。」と家の人への言い訳に使うのはやめて下さい。それは、意味が違います。勘違いしないで下さい。この言葉の意味を、皆さんにぜひ考えてほしいと思います。友達同士、どんな意味か考え、話し合ってみてください。



## 夏大会に向けて～剣道部部長の話より～

僕たち剣道部は今週末に夏の大会を迎えます。

この大会は僕たち3年生にとって、これまで続けてきた部活動の集大成になります。大会に向けて力を存分に発揮できるように、それぞれが熱心に稽古に取り組んでいます。

そんな中、この大会に懸ける思いは人それぞれです。ぼくはこの大会に3つの想いをもって臨みたいと考えています。

1つ目は、悔いの残らないようにすることです。僕は去年の大会にも出場しました。しかし、準決勝で敗れてしまい優勝を逃してしまいました。その悔しさをバネにここまで頑張ってきました。今年こそは、力を出し切り、昨年できなかった地区優勝を今年こそは成し遂げたいです。

2つ目は、一番近くで見ている後輩に最高の姿を見せたいです。部長という立場でありながら、だらしない先輩というイメージも少なからずあるかもしれません。そんな自分のイメージを払拭できるように、格好いい姿を見せていきたいです。そして、僕自身も先輩から受け継いできた「剣道部部長」というバトンを最高の状態で渡していきたいです。

3つ目は、感謝の気持ちです。顧問の先生、外部コーチ、先輩方、家族などこれまで多くの人に支えてもらって、部活を続けることができました。感謝の気持ちを表すことができるように、全力で大会に挑み、恩返しをしていきたいです。

この想いを胸に、目の前の一戦一戦に全力で挑み、よい報告ができるようにできるようにします。以上で終わります。

